

「人間環境都市」を目指して

苫小牧市は、人口17万人を超えており、紙・パルプや自動車部品の生産がさかんな、道内でも有数の工業都市です。

また、港があるほか、空港にも近く、交通アクセスに恵まれています。一方で、ウトナイ湖や樽前山など、たくさんの自然を有する土地です。苫小牧市は、豊かな自然のなかで、市民ひとりひとりが生き生きと暮らすことのできる「人間環境都市」を目指して、日々、まちづくりに励んでいます。

全体最適

地方分権の進展により、私たち地方自治体には、主体的な自治体経営が求められています。

行政は限られた資源の中でサービスを提供する必要があり、市全体として最優先すべき課題や組織が果たす役割が何かを意識する「全体最適」の視点が重要となります。

苫小牧市は、常に「全体最適」を強く意識しながら業務に取り組んでいます。

人を育てる

苫小牧市は、職員や職場組織の資質向上のため、「人材育成基本方針」を策定し、この方針に基づき、さまざまな取り組みを行っています。

苫小牧市職員像（人材育成基本方針 抜粋）

- 市民の立場で考え、公務員としての倫理観を持つ職員
- 社会情勢等の変化に反応し、柔軟な対応ができる職員
- 中長期的視野から市政全体を考えられる職員
- コスト意識等、経営感覚を持った職員
- 行政職としてのプロ意識を持った職員

